

医療経済		舟谷 文男	
-------------	--	--------------	--

配当年次	1 年次	配当学期	2 学期	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2 単位	必修・選択	選 択	授業形態	講 義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	○ 医療経済に関連する専門的知識を修得する。
	実践知識	
技能	分析解決技能	
	実務技能	○ 現場に則したチームマネジメント技法を修得する。
	新規事業技能	
態度	倫理観態度	
	企業変革態度	
	地域リーダー態度	○ 地域のリーダーとして医療経済に関する諸問題に積極的に取り組むことができる。
	国際協調態度	

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

医療経済

※ 2013年度以降入学生が対象です。

授業の概要 医療は人間社会にとって必須の公共的社会サービスであり、社会保障制度の一つとして重要な役割を担っている。また、医学・医療技術は日進月歩の発展をみているが、その恩恵を、いつでも、どこでも、誰でも受けられる医療システムの仕組みはどのように構築すべきか、その社会コストを誰が支払うのか、人の命を救う価格は決められるのか、医療サービスを提供する専門職種や医療施設はどのような組織構造を持つべきなのか、国民皆保険制度による経世済民の視点から、医療経済学の基本を幅広く理解させる。

教科書 なし。(Power Point 版講義資料のプリントを配布)

参考書 厚生労働省編『厚生白書』、真野俊樹著『入門医療経済学』中公新書、的場恒孝編『医療科学入門』南江堂、厚生労働省編『国民衛生の動向』

- 授業計画・内容**
- ① 医療経済学概論
 - ② 社会変動と医療需要・供給関係
 - ③ 社会保障と医療保険
 - ④ 医療サービスの値段
 - ⑤ 医療サービス資源とその動向
 - ⑥ プライマリーケアと産業保健
 - ⑦ 医療の人的資源と組織化そして労働
 - ⑧ 医療保障と地域医療
 - ⑨ 医療の安全管理1【医療事故・リスク管理】
 - ⑩ 医療の安全管理2【防災・減災】
 - ⑪ 医療情報システム
 - ⑫ 医療評価I
 - ⑬ 医療評価II・医療経済学の研究手法と論文作成の要点
 - ⑭ これからの保健・医療・福祉はどうなるのか
 - ⑮ 地域の保健・医療・福祉の一体化・地域包括ケア：医療経済学まとめ

成績評価の方法 課題レポートの評価 (70%)、日常の授業への取り組み (30%)

事前・事後学習の内容 「厚生白書」「国民衛生の動向」の2冊は必読参考書として一読すること。厚生労働省、自治体等の公式HPから関連施策を抽出し社会動向の点検をすることが学習補助に最適です。

履修上の注意 新聞などマスコミが取り上げる医療問題、介護・福祉問題等に絶えず関心を持ち続けること。

担当者からのメッセージ 医療は特殊な分野と捉えられがちであるが、良い医療を実現するためには、全ての事業と共通する人材管理・育成が基本であることを念頭に受講して下さい。

キーワード 社会保障、医療需要、地域包括ケア、医療供給資源、人材管理・育成、チームマネジメント、診療報酬制度、地域医療計画、地域分析、医療安全、医療情報システム、医療評価、

